

【図画工作】

<p>■児童の状況</p>	<p><低学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動に興味をもち、楽しく取り組めてはいるものの、発達の段階に差があり、一斉指導の中では理解できず個別指導を要する児童がいる。 <p><中学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動に興味をもち、意欲的に取り組む児童が多いが、制作に取り組むまでや制作途中でも個別支援を要する児童がいる。 <p><高学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動に興味をもち、意欲的に活動している児童がほとんどであるが、個々による制作進度の差が大きい。 ・自分の力で発想広げることが苦手な児童が少なからずいる。
<p>■指導についての課題</p>	<p><低学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・はさみやカッター、ダンボールカッターなどの基礎的な工作用具を安全に正しく使えるようにしていくことが課題である。 <p><中学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分なりにイメージを広げて楽しいアイデアを考えたり、材料の特徴を生かしてより工夫したりできるようにしていくことが課題である。 ・自らの課題や疑問について、こちらからの声かけを待つ児童が多く、自分から質問などが出来るようにするのが課題である。 <p><高学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の構想に沿って、それぞれがづくり方を考えていく必要があるため、制作に時間がかかる児童や集中力が途切れやすい児童をいかに支援していくかが課題である。 ・既習事項の定着に差があり、自分の思いや考えがあるにも関わらず表現に至らない児童がいる。 ・上記課題が起因していたり、マイペースで取り組んだりすることで、制作時間にかかり開きがあるのが課題である。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p><低学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・はさみ、カッター、段ボールカッターなどの基礎的な工作用具の使い方について指導し、繰り返し使っていく中で正しい使い方の定着を目指す。 <p><中学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近材料に加え発泡スチロールや木材など、素材の特徴を生かしながら表現したいことを表現できるような題材を設定する。 ・質問タイムを設ける、日頃から質問しやすい雰囲気作りを心がける。 <p><高学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童それぞれが豊かに発想を広げて制作できるよう、表現の幅をもたせた題材を設定するとともに、制作時間にも配慮する。 ・児童の思いや考えを聞き取り、それにあつた表現方法などを提示し、制作の意欲を高めていく。 ・なかなか制作が進まない児童には、段階的に目標を示し、個別に励ましながら少しずつ表現力を高められるようにする。 ・その時間の振り返りをタブレットを使い継続して行わせることで、自分の制作について客観的に見つめたり、次の活動への見通しをもたせたりする機会とする。